

# 英語を楽しく



☆ 「give」ほど多い意味を持つ単語はない。

「give」を使った熟語は、英和辞書 NEW SCHOOL(KENKYUSYA)によると、約50個、そのよく使われると思えるものをあげてみると、

give an address (演説する)

give a call (・・に電話をかける)

give a laugh (笑う)

give a look (・・を見る)

give a cry (叫び声をあげる)

give a pat (・・を軽くたたく)

give a glance (・・をちらっと見る)

give a try (・・をやってみる)

give a kiss (・・にキスをする)



give a kick (・・をけとばす)

give a ring (電話をかける)

give a speech (演説する)

give a talk (・・に話をする)

give a push (・・を押し)

give a tap (・・を軽くたたく)

give a polish (・・を磨く)

give a wash (・・を洗う)

give a wink (目で合図する)

address 以下「a」の後ろの単語はすべて、それら1語でも同じ意味ですが、

「give a+ 単語」

とする方がよく使われます。その理由として、例えば、友達に、真夜中に電話してきた彼氏を非難する気持ちを聞いて欲しいという気持ちを伝えたいとき、①②のどちらを言うでしょうか。

① He gave me a ring at the midnight.

② He rang me at the midnight.

彼女は、怒っている気持ちをきっと [give] に力を入れていうでしょう。ですから

**He gave me a ring at the midnight.**

そうすることで give・me・ring・midnight に力を入れて怒りを表現し易くなるのではないのでしょうか。

一度、①②を発音されたり、他のもので確かめてください。

よく使われるのは「give a look」(「have a look」も同じ意味ですが少し使い方が違います。)

① She gave him a look. 「彼女は彼を見た。」

② She had a look at him. look は atを後ろにつけますので、目的格のhimが来ます。

× She had him a look at.

の文は発音しても妙な感じがすることと思います。

